教育目標「心豊かで、たくましく生きる児童の育成」 ～よく学ぶ子　思いやりのある子　たくましい子～

令和7年度 渋川小学校 学校だより　　令和7年5月9日

かしの木 第３号

「ワクワク　楽しい　幸せ　いっぱいの渋川小」

本（読書）は心の栄養です

昨年度の学校評価のアンケート結果を見ると、子ども達の「読書」が課題としてあげられています。

本年度は、この課題を少しでも解決したいと考え、様々な取組を企画しました。

〈継続〉

- ◆ 読書貯金 ： 読書記録を本年度も累積していきます。どんどん貯金できるといいです。
- ◆ まつかぜ号 ： 巡回型の移動図書館です。
  学校に置いていないジャンルの本に触れ、借りることができます。
- ◆ ビブリオバトル ： 「オススメの本」を紹介し合い、最も読みたい本を投票で決めます。
  渋川小では秋に全校生で実施します。（４～６年生が発表者）
- ◆「家読」： 今年も家庭での読書の機会を設けたいです。よろしくお願いします。

〈新規〉

- ◆ 奥羽大学学生による「読み聞かせ」：（新）
  ・年間３回、奥羽大学の学生を学校に招き、読み聞かせを行ってもらいます。
  しかけ絵本や大判図書、様々なジャンルの本を使っての読み聞かせです。
- ◆ スペシャル読書タイム：（新）
  ・担任の枠を外し、渋川小の先生方が各学級を訪問し、読み聞かせや本の紹介を行います。どの先生が、どんな本を紹介してくれるのか楽しみです。
  ※ このほか、委員会の企画なども出てくるかもしれません。

学校や家庭、地域、それぞれ単独の取組をしているだけでは、なかなか読書習慣は育っていきません。単独の「点」の取組を「線」や「面」としてつなげ、広げていくことで、子ども達の読書習慣が形成されていくと思います。

「手の届くところに本がある」 そんな環境が整うとうれしいです。

各ご家庭に協力いただく場面も出てくると思いますが、ぜひ、お子さんと一緒に読書を楽しんでみてください。

【奥羽大学の教授、学生さんの読み聞かせ】（5／1）
子ども達の真剣な表情、そして、笑顔がはじけました。
「朝のリレー（谷川俊太郎）」は地球儀とセットでした。
しかけ絵本は、歯みがき指導とつながりました。

〈スペシャル読書タイム〉 ―「オススメの本は？」―

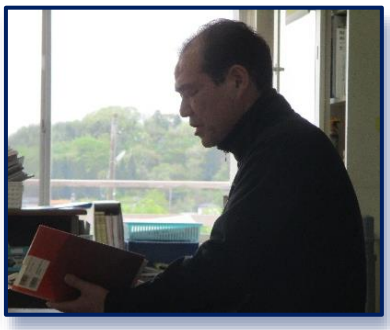
1年生教室では絢音先生が英語の絵本を…。

本田先生は2年生教室に登場です。

長井先生は4年生に読み聞かせます。

本年度の読書活動の目玉の１つが「スペシャル読書タイム」です。
「だれが来るんだろ？」「どんなお話を紹介してくれるのかな？」
始まる前から、子ども達はワクワク。　期待が高まります。
この日のために先生方は厳選した一押しの本を準備していました。
読み聞かせが始まると、子ども達がどんどん本の世界へ引き込まれていきます。
第２回目の開催は５月２６日。**テーマ**は…。　まだナイショです。
だれがどんな本を紹介してくれるのか、楽しみにしていてほしいです。

丈先生があの本を持って3年生に登場！


6年生に登場したのはなんと教頭先生！

美由紀先生の読み聞かせに5年生は楽しそう！

校長の独り言

「本」が好きだ。本がある場所（図書室や本屋）のあの雰囲気、あの匂い…。しんと静まりかえった中で、整然と並ぶ本を見ているだけで気持ちが躍る。我が家にも本は多い（方だと思う）。家の本棚を占めるのはもっぱら「〇〇辞典」や各種図鑑、雑誌…。読むというよりは、パラパラめくってサラッと見られるもの。そもそも「本が好き」といっても「購入し収集し所有する」という「本好き」だから、本を**「読む」**のはあまり得意ではない。（子ども達には「読書をしましょう」なんて言ってはいるけど…）　今回「スペシャル読書タイム」の様子を見て、先生方が上手に読み聞かせをしている姿に感動した。そして、ふと“自分だったら…”と考え（てしまっ）た。図鑑、辞典…。紹介はできるが、読み聞かせとなると難しい。 昔から好きな本に、「兎の眼／灰谷健次郎」がある。“先生っていいな”と教職へ憧れ、折に触れて読んできた本である。「鉄三のことはハエの話からはじまる」　書き出しがまずなんといっても強烈で衝撃的である。今となっては時代を感じさせる部分も少なくないが、先生を目指したエピソードとともにかろうじて紹介できる本か…。　久しぶりに本を読みたくなった。ページをめくる。登場人物や情景を想像するのにふと目を閉じ（てしまっ）た。心地よい時間が流れ、気付けば深い眠りへ。気を取り直し、隣にある「谷川俊太郎詩集」に手を伸ばす。（おっ、この長さ、ちょうどいい！）3，4編、詩を読んだら「読書」をした気分になり、満足した気持ちで久々の「読書」が終わった…。

学校ホームページアドレス
https://city.nihonmatsu.lg.jp/school/page/page000015.html